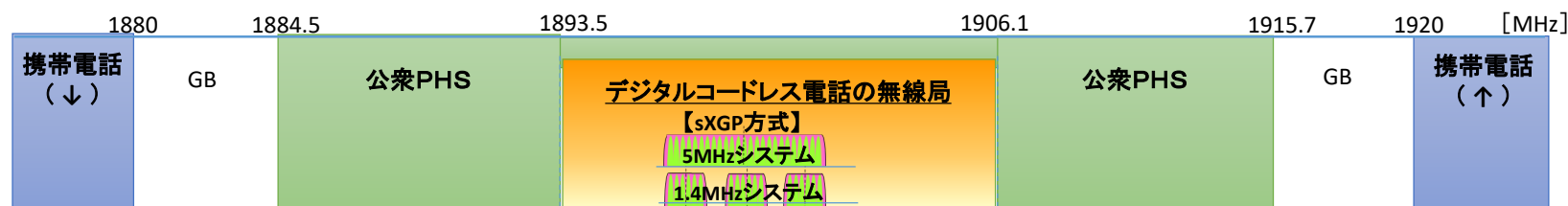


「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」の 検討に関する提案募集について

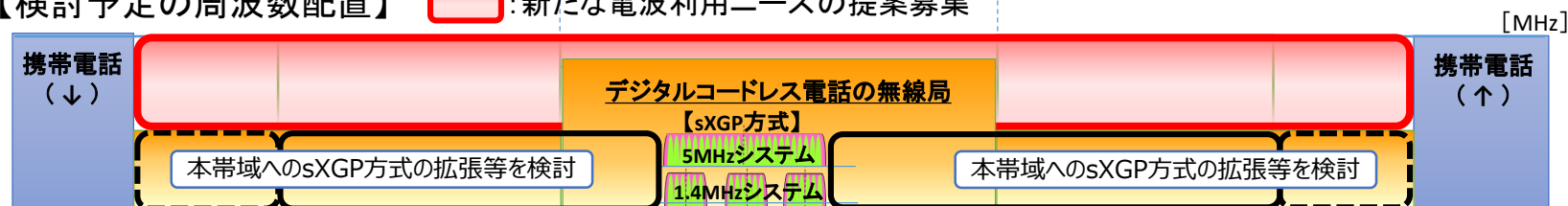
資料50-4

- 平成31年4月11日の陸上無線通信委員会において、TD-LTE技術を採用した1.9GHz帯のデジタルコードレス電話の無線局(sXGP方式)について、使用可能な周波数を拡充するため、隣接する公衆PHSとの周波数共用など、必要な技術的条件の検討を開始したところ。
- 一方、平成31年4月24日に公衆PHSサービス事業者から、令和5年3月末を持って全ての公衆PHSサービスを終了する旨の発表があったことから、sXGP方式の周波数拡充の検討に際しては、公衆PHSサービス終了後の新たな電波利用ニーズを踏まえた検討とすることが望ましい。
- よって、陸上無線通信委員会において、当該ニーズについて提案募集を行い、その結果を踏まえ、sXGP方式との共用条件など、必要な技術的条件の検討を進めることが適当。

【現行の周波数配置】



【検討予定の周波数配置】 : 新たな電波利用ニーズの提案募集



【提案の主な条件】

- 使用周波数帯: 1880MHz-1920MHzの最大40MHz幅とする。
- 周波数の共用: デジタルコードレス電話の無線局(自営PHS方式、DECT方式及びsXGP方式)の他、隣接する周波数帯を使用する携帯無線通信を行う無線局の運用にも支障を与えないこと。

【募集期間】 令和元年5月24日(金)から同年6月24日(月)まで

「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」の 検討に関する提案募集の結果

- 以下のとおり、DECTフォーラム、アイホン(株)、(株)オーディオテクニカより、3件の提案があった。
(いずれも、DECT方式に係る提案)

DECTフォーラム ジャパンワーキンググループ

- ETSI(欧州電気通信標準化機構)にて技術仕様を策定中の「高度化 DECT (仮称)」に係る提案。
- 主に、屋内向けアプリケーションとして、モバイル通信や無線 LAN のトラフィックオフロード等でも利用可能な、non 3GPPアクセスシステム。
- これらの新たな利用ニーズに対応するため、公衆PHSサービス終了後に、現行のDECT方式及び高度化DECT方式で利用可能な周波数が拡大されることを希望。

アイホン株式会社

- 近年、DECT方式を用いたビデオドアホンの利用が顕著であり、各家庭での利用のみならず、福祉・介護現場での利用など、利用ニーズが拡大。
- 当該ニーズに対応するため、公衆PHSサービス終了後、DECT方式で利用可能な周波数が拡大されることを希望。



株式会社オーディオテクニカ

- DECT方式を用いたワイヤレスマイクシステムについての提案。(提案内容の詳細については非公表を希望)
- 現行のDECT方式を用いたシステムの提案であり、新たな技術的条件の検討は不要。